

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	四季の森公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・大和情報サービス・サカタのタネGSグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横浜川崎治水事務所)

選定基準大項目	評価項目				審査(評価)の視点(C)	提案内容(D)	指定期間 令和4年度の事業実績(E)	所管課による課題分析等(F)	事業実績の確認方法(G)				
	選定基準中項目(A)	小項目(B)	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として「安全、快適な利用空間の提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	・提案された総合的な運営方針、考え方に基づき運営した。	・提案通り実施されていた。	○	○	○	聞き取り
						公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園の管理運営方針として、「日本の美しい四季を感じる公園 再生・四季の森公園」を掲げ、「四季折々の里山風景の再生」「里山体験を通じた人と自然との触れあい」「公園を核とした地域コミュニティの活性化」「地域一体となった市内有数のみどりの拠点づくり」に取り組む。	・提案された管理運営方針に基づき運営した。 ・「しょうぶ園」の再生などを行った。 ・公園まつりについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・提案通り実施されていた。 ・今後も公園の特性を生かした管理運営が望まれる。 ・公園まつりについては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら開催していく。	○	○	○	聞き取り
						利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 本公園は、子どもから高齢者、障がい者、外国人、地域住民や関係団体、ボランティアなど様々な方が利用されている。私たちは誰もが安全・安心・快適に公園を利用して満足し、周辺地域や住民への影響や環境などに十分配慮した管理運営に取り組む。	・提案された管理運営方針に基づき運営した。 ・危険木の伐採などを積極的に行い、安全な利用環境の確保などを行った。	・提案通り実施されていた。 ・引き続き、誰もが安全・安心・快適に利用できる公園となるよう適切な管理運営に努めてもらいたい。	○	○	○	聞き取り
						業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等(委託先の選定方法、県内(地域)企業への委託の考え方)	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注を優先する。	・提案に基づき運営した。 ・発注が必要な業務のうち可能なものについては、県内企業への発注を行った。	・引き続き適切な発注を行うことが望まれる。	○		○	聞き取り
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	9	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 「四季折々の自然環境や里山景観風景の再生」「安全・安心で快適な公園利用の確保」「防災機能の発揮のための取組」等に取り組む。	・提案通り実施した。 ・里山管理計画策定に向けた現況調査や、危険木除去を行うなど、提案通り実施した。	・提案通り実施されていた。	○	○	○	聞き取り
						施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 施設の経年劣化が進んでいるため、予防保全を基本とした施設の長寿命化と安全を最優先とした速やかな維持管理を行う。特に遊具などの利用の多い施設や大きな事故に繋がる可能性のある施設、劣化している樹林地内の柵やテーブルなどの保守点検には注意を払う。	・提案通り実施した。 ・巡視などにより、老朽化施設について注意を払うなどを行った。 ・修繕における発生時の有効活用などを行った。	・老朽化により安全な利用に支障がある施設などについて、積極的な修繕や必要に応じた県への報告を行うことが望まれる。	○	○	○	月例報告
						清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 不満の多いトイレ清掃や落ち葉時期の園路清掃を徹底するとともに、トイレに花を飾ることやお礼の言葉の掲示、消臭炭の設置等で利用者の感情を和ませる工夫に取り組む。 ○ バリアフリーや心のバリアフリーに配慮し、高齢者や障がい者、外国人などの利用に対応した、車椅子などの補助用具やコミュニケーションボード、筆談用具や翻訳機などを用意し、誰もが安心して公園を利用できる環境づくりに取り組む。 ○ 夜間と年末年始は公園職員が不在となることから、警備員2名による園内巡回警備を実施すや、防犯カメラ付き自動販売機の設置や近隣商業施設通動時の視認などで、防犯対策を強化する。	・提案通り実施した。 ・清潔な施設となるような清掃に取り組むなど適切に実施した。 ・年末年始の園内巡回警備を実施するなどを行った。	・今後も、快適で安全な利用施設となる取組を実施することが望まれる。	○	○	○	月例報告
						樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 里山の自然環境・生物多様性の保全や樹林地管理の指針となる「里山管理計画」について専門家やボランティアの意見を踏まえ県民参加で作成するとともに、エリアごとの特性や課題を踏まえた維持管理を行う。また、園内の花壇のコンセプトを「里山の四季」とし、里山の四季を再現した花壇管理を行う。 ○ 公園に生息するカタクリやホタルなどの希少動植物については、生態的特性や生息状況を踏まえた保全対策を講じるとともに、その効果をモニタリング調査することで、効果に応じた順応的管理を行う。	・提案通り実施した。 ・「里山管理計画」については現況調査や、専門家からの意見聴取を行うなどを実施した。 ・希少動植物については、モニタリング調査を行い、順応的管理を実施した。	・「里山管理計画」については、今後、調査結果等を踏まえ、計画策定を行うことが望まれる。 ・希少動植物については、今後も調査を行い適切な管理を行うことが望まれる。	○		○	聞き取り
						(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	8	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	○ 荒廃したしょうぶ園や里山環境の再生など、本来この公園が持っている魅力を回復させて活用を図る。 ○ 花修景などによる四季の魅力アップを通じた利用促進や、参加者の関心度・知識・経験に応じた里山体験プログラムを提供、地域コミュニティに利用される公園づくり、里山ガーデンなど周辺と連携したみどりの拠点づくり、炭焼き小屋など既存施設の有効活用に取り組む。	・提案通り実施した。 ・しょうぶ園の再生を実施した。 ・各花壇をウエルカムガーデンとして植栽し、四季の魅力アップを実施した。
有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ SNSを活用した混雑緩和対策等、繁忙期に生じる駐車場待ちの渋滞対策に取り組む。 ○ 利用者サービスの向上や夏期の熱中症対策のため、利用の多いエリアを中心に自動販売機を設置します。また、家族連れや子育て世代に配慮し子育て応援自動販売機の導入等に取り組む。	・提案通り駐車場利用状況の発信を実施した。 ・自動販売機の設置を行った。	・今後も提案に基づき、混雑予想カレンダーの情報発信が望まれる。	○	○						○	月例報告	

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 新型コロナへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	・提案通り実施した。 ・公園の新型コロナウイルス対応ガイドラインの作成などを行った。	・今後は新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ対応することが望まれる。	○	○	○	月例報告 聞き取り	
		災害への対応 (事前、発生時)	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	5	4	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	・提案通り実施した。 ・時点ごとに県に状況報告を実施した。	・今後も異常気象時等においては適切な対応が望まれる。	○		○	聞き取り	
			公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応			○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等 に沿って迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園に速やかに参集可能な本部や公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動対応を図る。	・提案通り実施した。 ・緊急参集訓練を行った。	・提案書のとおり適切に実施されている。 ・今後も初動体制の対応を徹底していくよう望まれる。	○		○	聞き取り	
			大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）			○ 市街地内にある公園として、大規模地震時に発生する避難を想定した避難誘導（延焼被害防止）や、消防用水源として使用される「はず池」への消防車両進入を想定したシミュレーションなど、区役所等と連携して行う。 ○地震時に必要となる機器設備・備蓄品や、防災井戸等の点検と適切な維持管理、地域や関係機関と連携した防災訓練などを行うとともに、災害時には横浜市や関係機関等が行う避難誘導や負傷者救急措置、救助救援活動などに協力する。	・提案通り実施した。 ・安全管理研修や消防訓練などを実施した。	・提案された考え方に基づき適切に実施されている。 ・今後も災害時に備え、機器設備・備蓄品の点検、維持管理や、地域や関係機関と連携した防災訓練の継続が望まれる。	○		○	聞き取り	
	(5) 地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	5	5	○ 地域の多様な団体や組織と連携協働しながら様々なイベントを開催し、地域とともに公園の魅力づくりや地域の活性化、交流づくりなどを進めるとともに、地域と協力した防災・防犯体制の構築や企業CSR活動との連携、学校等教育機関との連携などに取り組む。	・提案通り、緑区民祭りへの協力など、地域との連携協働したイベントを実施した。	・今後も地域など多様な主体と連携・協力した取組を充実させることが望まれる。	○	○	○	月例報告	
			ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容			○公園で既に活動しているボランティア団体との連携・協働に加え、誰もが好きな時に参加できる、ボランティア登録制度を立ち上げるなど、本公園に関心のある新たなボランティア団体の発掘や関係づくりに努める。	・提案通り実施した。 ・園内で活動するボランティア団体との連絡組織であるボランティア連絡協議会事務局としての役割を果たした。 ・園内で活動しているボランティア団体との協働による取組を実施した。	・今後も、ボランティアの育成や、既存団体との協力を強化した取組が望まれる。	○		○	月例報告 聞き取り	
			周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容			○ 公園を「里山景観の保全と利用、里山体験の場」と位置づけ、近隣の「里山ガーデン」などの周辺施設と連携しながら、里山の保全と利用、体験活動等に関する情報交換や普及啓発、イベントの提供などに取り組む。	・提案通り実施した。 ・近隣商業施設へのチラシの配架などを実施した。	・今後も、近隣施設や他の公園との交流・連携の取組を充実させることが望まれる。	○		○	聞き取り	
			地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容			○ 業務委託を行う場合には、地域企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、地元造園会社、シルバー人材センターや社会福祉法人、地元非営利団体とも継続的に業務委託することにより地域と連携し魅力ある公園づくりに取り組む。	・提案通り実施した。 ・可能な限り地元企業に発注した。	・今後も、地域の企業等への業務委託により、地域連携が図られることを期待する。	○		○	聞き取り	
	III 団体の業務遂行能力	(6) コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	・提案通り実施した。 ・個人情報保護規定などの各種規程類を整備した。	・今後も提案に基づき実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	・提案通り実施した。 ・危険木の伐採などを積極的に行った。	・今後も提案に基づき実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り
法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績						○ 障害者雇用状況については、神奈川県公園協会とサカタのタネGSは法定雇用率を達成している。大和情報サービスは令和2年6月1日時点では未達成となっているが、令和2年7月には達成している。	・全ての構成法人が、法定雇用人数を充足している。	・提案内容のとおり（業務の基準及び提案書のとおり）適切に実施している。引き続き、法定雇用率の達成に向けて、適切な対応に努めてもらいたい。	○		○	聞き取り	

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）				
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢 献	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	障害者差別解消法に基づく合理的配慮な ど、「ともに生きる社会かながわ憲章」の 主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の 制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り 組んでいる。また、各公園における指定管理業務でのイベント等 を通じて障がい者支援、障がい者理解の普及啓発に関する取組を 進める。	・提案通り実施した。 ・職場内研修等を実施した。	・提案書のとおり適切に運営して いる。 ・「ともに生きる社会かながわ憲 章」の制定主旨を踏まえ取組に努 めてもらいたい。	○		○	聞き取り
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するため に、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやす い環境づくりに努めます。	【再掲】 ・提案通り実施した。 ・職員の研修等を実施した。	・提案書のとおり適切に運営して いる。 ・聴覚障がい者の方の安心安全な 公園となるよう努めてもらいた い。	○		○	聞き取り
						社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、 SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○ 以下について取り組む。 ・「SATOYAMA フィットネス（仮称）」実施や健康ウォーキング マップ作成による健康づくりの推進 ・障がい者就労支援施設への花壇づくり、ともしびショップ運営 支援による障がい者の社会参加促進 ・わんわんパトロールや地域と協働した防災フェス開催等による 地域の防犯力・防災力の向上 ・子どもの遊び場づくりや公園まつりの開催等による誰もが楽し める公園づくり ・里山の発生材を活用したクラフトイベントやベンチ作り等によ る「里山の資源循環」と普及啓発 ・園内生産物（梅の実等）や更新する災害備蓄食料をフードバン クに寄贈 ・希少動植物保全、外来種防除、里山保全による生態系保全 ・里山ラボや子どもレンジャー養成講座等のボランティア育成と 受入による協働型公園管理	・提案通り実施した。 ・SDGs基金による取組を実施した。	・今後も提案に基づき実施される ことが望まれる。	○		○	聞き取り
	(7)	事故・不祥事への対応、個人 情報保護	事故・不祥事 への対応、個人 情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な 事故または不祥事の有無ならびに重大 な事故等があった場合の対応状況及び再発 防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、 適切に業務を遂行している。	・提案内容のとおり（業務の基準 及び提案書のとおり）適切に運営 している。引き続き、重大な事故 や不祥事を起こさないよう努めて もらいたい。	○		○	聞き取り
						個人情報保護についての方針・体制、職員 に対する教育・研修体制及び個人情報の取 扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報 を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人 情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実 施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	・提案通り実施した。 ・「個人情報保護方針」を公表し、諸規程 の整備を行った。	・今後も提案に基づき実施される ことが望まれる。	○		○	聞き取り

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	四季の森公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・大和情報サービス・サカタのタネGSグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横浜川崎治水事務所)

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
管理事務所	展望広場
	
「自然観察会」の様子	噴水広場